

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和7年2月13日(2025.2.13)

【国際公開番号】WO2023/238201

【出願番号】特願2024-526049(P2024-526049)

【国際特許分類】

H 0 2 M 3 / 1 5 5 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 2 M 3 / 1 5 5 L

H 0 2 M 3 / 1 5 5 B

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月26日(2024.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

20

図6は、実施形態の第3の変形例に係るDC/DCコンバータ1Cの構成を示すブロック図である。DC/DCコンバータ1Cは、図1の制御回路10に代えて制御回路10Cを備える。制御回路10Cは、図1の各構成要素に加えて、過渡応答検出器35を備える。過渡応答検出器35は、モニタリング回路の一例である。過渡応答検出器35は、出力電圧Voutに基づいて、DC/DCコンバータ1Cが負荷装置2による過渡応答状態にあるか否かを検出する。過渡応答状態は、DC/DCコンバータ1Cの出力端子Noutに接続された負荷装置2の過渡応答により、出力電圧Voutが所定の時間期間中に大きく変動することを意味する。過渡応答検出器35は、DC/DCコンバータ1Cが過渡応答状態、すなわち異常状態にあるか、そうでない定常状態にあるかを示す信号Susを発生してオンタイム回路14に送る。例えば、DC/DCコンバータ1Cが過渡応答状態

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

40

図11は、実施形態の第8の変形例に係るオンタイム回路14Bの構成を示すブロック図である。オンタイム回路14Bは、図2のスイッチS21に代えて、遅延回路27を備える。NOR回路22の出力信号は、遅延回路27を介してNOR回路23に入力される。これにより、オンタイム回路14Bは、スイッチング素子Q1, Q2が同時にオフされた状態からスイッチング動作を開始する場合、スイッチング動作を開始してから一定期間の間、固定された基準電圧Vref22を用いて制御信号Sotを発生することができる。

。

50